

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果> ○国語科では、全体的に全国平均より高くなっている。特に漢字の理解が高い。 ○算数科でも、全国平均と比較すると、基礎的内容(A)応用的内容(B)共に全国平均より高い。 ○前年度に比べ、国語科、算数科共に伸びている。特に算数科の基礎計算力は伸びが大きくなっている。</p> <p><課題> ▲国語科では、慣用句の意味と使い方や、問題文の条件に従って自分の考えを書くことが、やや苦手である。 ▲算数科では、図形の分野についての理解がやや不十分である。また、活用問題では、問題文から必要な内容を読み取る力が十分でなく、長文を理解する力は、やや劣っている。</p>	<p><成果> ○家庭での学習時間、計画性は、肯定率が全国平均を大きく上回り、学習習慣が身に付いている児童が多い。 ○自主学習の取組を計画的、継続的に行うことで、学習時間・理解度が伸びた。 ○家庭での会話が長く、地域や社会で起こっている出来事に関心が高い。</p> <p><課題> ▲自主学習の内容を充実させていく。</p>

「でんと

改 善 策
学 校 で の 取 組

<p>①落ち着いた学習環境の確立 ・鴨方東小生活ブランド「あいさつ」「履き物そろえ」「黙ってそうじ」「黙って集合」「ろう下歩行」の徹底 ・「文房具の約束」「学びの約束」による学習規律や学習習慣の定着</p> <p>②基礎・基本の学習内容の定着のための取組 ・県のたしかめテスト・トライシートでの補充学習 ・国語辞典・漢字辞典の活用による語彙力向上 ・放課後学習</p> <p>③分かる授業づくり ・めあてとまとめ、振り返りのある授業 ・書く活動を取り入れた授業 ・児童に分かりやすい構造的な板書 ・個に応じた指導</p> <p>④算数科、道徳科を中心教科として「自分の考えをもち、伝え合う子ども」の育成 ・既習内容を活用して自分の考えを図や式でノートに書くこと ・目的などの条件を意識しながら自分の考えをもち、まとめること ・考えの根拠をはっきりさせ、分かりやすく説明すること ・ペア、グループ、全体での話し合いで、自分の言葉で考えや思いを伝えること</p>
--

中 学 校 区 で の 取 組

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区内の各学校の研究授業・研究協議に相互に参加し、授業技術を研鑽すると共に、授業の進め方について情報を共有し、中学校へのスムーズな接続を図る。 ・中学校区内の各学校で、中学校のテスト期間に合わせて「メディアコントロール週間」を設け、生活習慣の改善を図る。 ・家庭学習や生活目標、学校のきまり等について情報交換を行い、小中が連携してレベルアップするような取組を行う。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

<ul style="list-style-type: none"> ・元気のよい挨拶がいつでもどこでも誰にでもできるように励ましをお願いします。 ・すこやかカードの項目(早寝・早起き・朝ご飯、家庭学習の時間、テレビ・ゲームの時間)を守ることができるように引き続きアドバイスや励ましをお願いします。 ・学校支援ボランティアとして、児童の学習に参加していただいたり、地域の行事に子どもたちと一緒に参加していただいたりして、子どもたちの良さや頑張りを見つけてほめてください。
--